

経営者の皆様へ

社内に眠る埋蔵金を発掘する 特命CRO（最高収益責任者）業務のご案内 ～ 高収益体制の構築 〈無料サービス〉 ～



1 .CRO業務は業績を上げる	P.3
2 .CROの人材紹介について	P.4
3 .縦割り組織の課題	P.5
4 .目的を把握する組織体制	P.6
5 .CROに求められる資質	P.7
6 .弊社が提供する業務	P.8～11
7 .企業が支払うCRO報酬額	P.12
8 .まとめ	P.13
9 .よくある質問	P.14
10.アイリスク研究所(株)について	P.15

CRO（最高収益責任者）業務について

CRO（最高収益責任者、Chief Revenue Officer）とは、収益を出す使命の役職名。各部門を横断して効率的に利益を出す方法を見つけ出す責任者のことです。企業の組織内にCRO業務を取り入れることで、組織内の課題が解決され業績が向上します。

弊社は、CRO業務を提供します。
利益を追求し、従前と比べて現預金が**純利益額の10%～20%**さらに増えるスキームを提供します。

コンセプト

- ① 経営者の目線で利益を創出する
- ② 本来得られる利益は逃さない

CROのスキルを持った人材は希少です。

一方で、企業のCROに対する期待は高いものがあります。

経営者目線で利益追求を行ない、企業組織の課題を解決するニーズをつかみ、組織へ高収益体制を導きます。

【CRO業務導入のメリット】

1.人材を探さなくてよい。

⇒ **弊社が法人でCRO業務を提供**

2.企業ニーズが100%である。

⇒ **利益と資金が増える**

3.導入企業は人件費負担がありません。

⇒ **CROへ給料支払いは不要（弊社が無料制で受託）**

4.容易に取り組める。

⇒ **簡単明快なスキーム。利益額が数字で把握できる。**

企業の組織形態は、機能別組織（経営企画部・人事部・財務部・営業部など）、事業部制組織（事業ごとの組織）が主流。

各部門が利益を伸ばす為の戦略を考えるのが理想であるものの、**組織の設計上難しい**ケースが多い。

【よくある課題】

- 1.縦割り組織は、専門職種部門の特性ゆえに、全社的な見地から利益を生み出す思考機能が働きにくい。
- 2.組織の垣根を超えた『有益な情報』が埋もれてしまう傾向がある。
- 3.会社として『有益な情報』であっても、複数部署が連携する情報は根拠がない拒絶をしてしまう。
- 4.他部署からの情報は、受け流して内容を確認せずに放置される。担当者は自分の業務以外に関心を持たない。

解決方法

CRO業務を導入する。「利益追求の視点で組織を横断する」

CROは収益を伸ばす為の現状分析を行い、従来の方法に囚われることなく収益向上策を練ります。

増益効果の持続性を持たせる為には、目的を把握する組織体制が必要です。
弊社は各部門の役割を提示します。

【増益効果の持続性に関わる主な部署】

- 経営企画部 経費削減効果から生じる利益の把握
利益計画に反映される数字の管理
- 財務部 資金効率が高まることの検証
財務収支の把握と記録
- 人事部 高収益体制の仕組みづくり、部署間の連携促進、
体制状況の「報・連・相」を代表者へ行なう。



本来得られる利益を確保する



経済環境はかつてないほど急速に変化しています。企業は俊敏性と革新性を持った対応が必要になりました。

CROは「柔軟な発想」と「今までに無い着眼点」を持つ資質が不可欠です。

例えば、

- ・ 利益計画は営業収益から作る。
⇒ **社内の工夫から生じる利益〇〇百万円を加えて利益計画を作る。**
- ・ 利益を上げるには顧客との交渉が必要だ。
⇒ **顧客交渉が不要な業務分野で〇〇百万円利益を高める。**
- ・ 福利厚生費用は支出予算だ。
⇒ **福利厚生予算〇〇〇百万円から、〇〇百万円の利益を生み出す。**
- ・ 余計な経費の支出は無い。
⇒ **気が付いていない余計な経費〇〇〇百万円を支払い続けている。**

① 経費削減サービス

経費削減の原理

余計な経費を削減する『基幹エンジン』の効果により、新たな利益を生み出します。現預金を安全に守る工夫をすることで、余計な経費が削減され資金が増える**簡単明快なスキーム**です。

純利益の5%～10%が経費削減額として算出されます。

この経費削減効果により、利益と資金が増えます。

増える資金量は、経費削減額のおよそ2倍の金額になります。

➡ 容易な方法で社内埋蔵金を発掘



① 経費削減サービス

純利益額と増える現預金額には相関関係があります。

簡単明快なスキームによる**経費削減額は、純利益額の5%~10%相当**です。

その結果増える**現預金額は、経費削減額の約2倍の金額**になります。

下記概算額の金額以外では、純利益に対して10%~20%の割合をかけて現預金額を試算してください。

結論

従前と比べて、恒久的に現預金がさらに増える

概算額の例

純利益額	経費削減額	増える現預金額
5,000万円 →	250万円~500万円 →	500万円~1,000万円
1億円 →	500万円~1,000万円 →	1,000万円~2,000万円
5億円 →	2,500万円~5,000万円 →	5,000万円~1億円
10億円 →	5,000万円~1億円 →	1億円~2億円

※ 経費削減サービスには単純な要件があります。各数字は概算です。

① 経費削減サービス

オンライン資料をご用意しております。

◆ ベスト経費削減.com

<https://www.bestcostcut.com/>



◆ ザ・ビジネスモール（運営：商工会議所）、日本商工会議所推奨 経費削減サービスを端的に紹介。

「よくある質問 (1) ・ (2) 」もご覧ください。

<https://www.b-mall.ne.jp/CompanyDetail-CYbqCQfwHWjt.html>

※ 経費削減サービスの対象には単純な要件があります。

② 特命CRO業務

縦割りの組織に横串を通して、**簡単明快に高収益体制を築く方法を提供します。その効果は容易かつ恒久的に持続します。**

本件の「特命」とは、短期間（2カ月～5カ月）で従前よりも利益が増える仕組みを提供するものです。

弊社は法人で「特命CRO業務」を受託します。



7.企業が支払うCRO報酬額（無料制）

弊社は「経費削減サービス」及び「特命CRO業務」を**無料制で受託**します。
CRO業務の報酬（給与）支払いは不要です。

「経費削減サービス」および「特命CRO業務」を企業の費用負担無しで提供します。

無料制 ～ 相談から実施までを無料で行います。

【企業のメリット】

毎年1億円の現預金が増える例では、**5年間で5億円**になります。

5億円の現預金を増やす為の売上高は100億円～200億円に相当します。

- 1.企業がCRO業務を導入すると、収益性が高まり利益が増える。
- 2.弊社が提供する業務は、「経費削減サービス」と「特命CRO業務」
- 3.経費削減サービスは、従前と比べて現預金が純利益の10%～20%さらに増えるスキームの提供。
- 4.企業が当スキームで恒久的に増益効果を維持するためには、目的を把握する組織体制が必要。**（本来得られる利益を確保する）**
- 5.企業ニーズに合致するスキルが高い「人材」により、組織が高収益体制になる。



Q1.経費削減サービスの安全性と真実性は客観的に確認できますか？

A1.はい、できます。経費削減を行う企業の公認会計士や税理士の方に会計処理を確認いただく手順を入れております。

これにより、**スキームの安全性と真実性を担保します。**

Q2.アイリスク研究所(株)はどこから収益を得るのですか？

A2.弊社は無料でサービスを行う場合でも、ビジネスとして成り立つ事業モデルを作りました。詳細は所定の方法で開示しています。個別にお問い合わせください。

その他の「よくある質問」は弊社HPに掲載しています。

<https://www.bestcostcut.com/%E3%82%88%E3%81%8F%E3%81%82%E3%82%8B%E8%B3%AA%E5%95%8F>

会社概要

「財務戦略」 「営業戦略」 「人材の育成・能力開発」 「経営リスク対策」 「海外事業」

この5部門を専門とした事業戦略コンサルタント会社です。
これら部門をコンビネーションし、目的の実現へ導きます。

会社名	アイリスク研究所 株式会社 代表取締役 川合 秀博
住所	〒060-0042 北海道札幌市大通西6丁目5番地4 第58山京ビル201号室
電話	011-211-1656（川合直通:070-6601-2720）
メール	kawai-hid@airai.jp
設立年	2008年
URL	https://www.bestirisk.com/ https://www.bestcostcut.com/ https://www.bestzaimu.com/